

## 平成23年度 五泉市小教研音楽部 活動報告

### 1 活動のねらい

子どもたちが楽しく音楽活動に取り組む手だての研修を深める。

### 2 活動内容

#### (1) 授業研究 (6月29日)

- ア 題材名 和音の移り変わりを楽しみながら合唱を楽しもう (6学年) (教材:「こげよマイケル」)  
イ 授業者 佐々木和香子 教諭 (五泉南小学校)  
ウ 授業の概要

授業者は、「声の重なるの響きを感じ取りながら、三部合唱ができるようにすること」を目標に、本題材に取り組んだ。本時では、グループの友達との練習を通して、自分のパートを歌ったり、声を重ねる楽しさを感じ取ったりすることができることをねらい、授業を行った。

導入時には、体を動かしたり、スキンシップを図ったりしながら既習の歌を歌い、ウォーミングアップをした。その後、「こげよマイケル」の「ハレルヤ」の部分を取り上げ、副旋律の高音と低音のパートを全員で練習した。その後、希望するパートごとにグループを作り、グループで練習を行った。参観者も、主旋律担当として各グループに加わった。授業者は、「少し柔らかい声で歌ってみようか。」等のアドバイスをしながら各グループを回った。終末には、グループごとに発表し、互いの声を聴き合ったり、全員が輪になって歌い、中央で代表の子どもに響きを聴かせ感想を述べさせたりした。

授業では、自然に体を揺らしながら表情豊かに歌う姿が見られ、男女仲良く誰とでもすぐにペアやグループを作ることができていた。「音楽は学級経営そのもの」を実感する授業であった。今後は、全部のパートを全員が歌えるようにする、人数を徐々に減らしていくなど、さらに高い目標を設定したり、自分たちの歌声を聴かせ、声の質に着目させたりしていくとよいのではなどの意見が出された。

#### (2) 実技研修 (9月7日)

- ア 研修内容 授業に生かせる合奏指導  
イ 講師 金子 順爾 様  
ウ 研修の概要

講師からは、「A Whole New World」を中学年向けの器楽合奏用にアレンジした楽譜を用意していただいた。ピアノ、グロッケン、木琴、キーボード、バスマスター、鍵盤ハーモニカを部員が分担した。講師の指導で、みるみる音楽に流れができ、曲が仕上がっていくのが分かり、心を一つに合奏する楽しさを味わうことができた。また、鍵盤ハーモニカの息圧を変えることで音色に深みが出たり、木琴のマレットの持ち方や打つ位置、打ち方の違いで音色に大きな違いが出たりすることなど、それぞれの楽器を効果的に演奏するポイントを具体的に指導していただいた。

#### (3) 音楽鑑賞 (9月28日)

- ア 研修内容 箏曲の鑑賞と箏の演奏法  
イ 講師 本間 敦子 様  
ウ 研修の概要

講師からは、はじめに箏の歴史や種類、演奏の形態などについてお話いただいた。続いて、調子笛を使って琴柱を立て音階を作っていく調弦の様子を見せていただいた。弾き方や、楽譜の読み方を教えていただいた後、「三段の調べ」「ひぐらし」の2曲を聴かせていただいた。間近で生の演奏に接し、箏の音色の美しさと多様な響きに感銘を受けた。日本の伝統楽器でありながら、普段なかなか接する機会が少なく、せっかく学校に備えられていても授業でどう扱ってよいか分からない、そんな敷居の高さを感じていた箏が身近に感じられた時間であった。

### 3 成果と課題

昨年度に引き続き「子どもたちが楽しく音楽活動に取り組む手だての研修を深める」というねらいで活動を行ってきた。3回の研修を通して、教師自身が音楽の楽しさを体感し、自身の音楽の世界を広げることができたのではないかと思う。この体験を生かして、子どもたちが楽しい音楽活動ができるように今後も実践を重ねていきたい。